

1. 新庁舎に潤いを、旧庁舎に感謝する町民イベントを

いまだ新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えず、感染者数は増加し続け町民から不安の声が聞かれる。

昨年5月に新庁舎の供用開始がされた。機能強化だけでなく北部地域と南部地域の交流の結節点にあり、周辺地域を含めた地域連携の中核拠点をなす人と人の繋がりを深める庁舎としている。1階を町民が憩えるよう広くスペースを取り、特に庁舎入口では日本文化を尊びおもてなしの温かい雰囲気演出され、職員が積極的に町民の皆さんへ応対をされていた雰囲気が、町民の皆さんから大変評判が良かった。

しかし、コロナ禍で庁舎入口も様変わりし、町主催のイベントも中止・縮小・延期が続き、町民と行政の距離がますます遠くなっているとの声を聞く。このような時だからこそ、創意工夫により積極的な施策を展開し、町民の皆さんがいつでも安心して生活できるように努める必要があると考え、次の事項を問う。

- ① デジタル防災行政無線を活用して健康増進のためラジオ体操を実施しては。
- ② コロナ禍においても町民プラザに潤いのある装飾やミュージックを流してみてもは。
- ③ 旧庁舎の解体工事が無事に完了した折には、旧庁舎に感謝し、新庁舎の開庁を喜びあえる町民イベントを実施する考えは。